

事業番号	08 02 05	事業改善シート(28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	「NAGANO WINE」ブランド発信事業費			担当課	部局	産業労働部	
総合5か年計画	プロジェクト	9-2-3 信州ブランド確立プロジェクト			課・局・室	ものづくり振興課 日本酒・ワイン振興室	
	施策の総合的展開	1-2 強みを活かした観光の振興 1 選ばれる観光地域づくり			E-mail	jizake@pref.nagano.lg.jp	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出			実施期間	H25 ~	
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 イ 地域資源を活用した自立的な経済構造の構築 ア) 地域資源の活用					

1 事業の概要

目指す姿	平成25年3月に、ワインを楽しむ文化が人々の暮らしに息づき、その美しい文化に憧れて県内外から多くの人々が訪れる地域を目指して「信州ワインバレー構想」を策定した。構想の具現化やNAGANO WINEのブランド向上に向け、官民が一体となって意識の醸成と受入れ態勢の構築、発信に取り組む							
現状(予算編成時)	①NAGANO WINEの認知及びブランド力向上のため、PRイベントや試飲会の開催、ツール作成などプロモーション活動を実施。県外では帝国ホテル東京でNAGANO WINE FESを開催。 ②ワイナリーが29件と増加し、今後も増加が見込まれる。また、委託醸造しているヴィンヤードや小規模ワイナリーから老舗のワイナリーまで様々なワイナリーが存在。							
県が関与する理由	県関与の必要性あり		【左記の説明、根拠法令等】 NAGANO WINEのブランド力を向上し販売、消費を進め、ワイン産業へ安心して参入できる環境を整えることが地域の活性化につながるため、県が積極的に取り組むことが必要					
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)							
	県内ワイナリー数の増加(H27:29ワイナリー ⇒ H28:31ワイナリー)							
	② 事業内容 (単位:千円)							
		項目	実施方法	H28事業実績	H28		H29	
				(当初)	(決算)	(当初)		
	信州ワインバレー構想推進協議会の開催	直接	総会と講演会を5月に開催、約70名参加。	0	101	0		
	プロモーション	委託	ワインフェスを東京帝国ホテルで2月に開催。事業者向け試飲会を開催。啓発資料の作成、英語版ホームページ作成。	0	13,109	10,410		
			合計	0	13,210	10,410		
事業コスト	区分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度			
	予算額	前年度繰越		14,204				
		当初予算	19,386	0	10,410			
		補正予算	14,204					
		合計(A)	33,590	14,204	10,410			
	Aの財源	一般財源				5,855		
		県債						
		国庫支出金	14,204	14,204	4,555			
		その他	19,386	0	0			
	決算額(B)	19,386	13,210					
概算人件費	職員数(人)	0.80	0.80					
	概算人件費(C)	6,621	6,331	0				
概算事業費(B(A)+C)	26,007	19,541	10,410					
成果目標の達成状況	項目	H26末	H27末	H28			H29	
				目標	成果	達成状況	目標	
	県内ワイナリー数	27	32	33	33	達成	34	
目標に対する成果の状況	信州ワインバレー構想に沿ったオール長野での振興の効果が表れはじめ、新規参入支援によるワイナリーの集積や、原産地呼称管理制度の運用や県内外でのプロモーションによるG7サミットでのNAGANO WINE提供等、ブランド価値が向上。							

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	東京五輪を見据えて首都圏での発信を強化するなど、海外での認知度向上を見据えたプロモーションが必要。